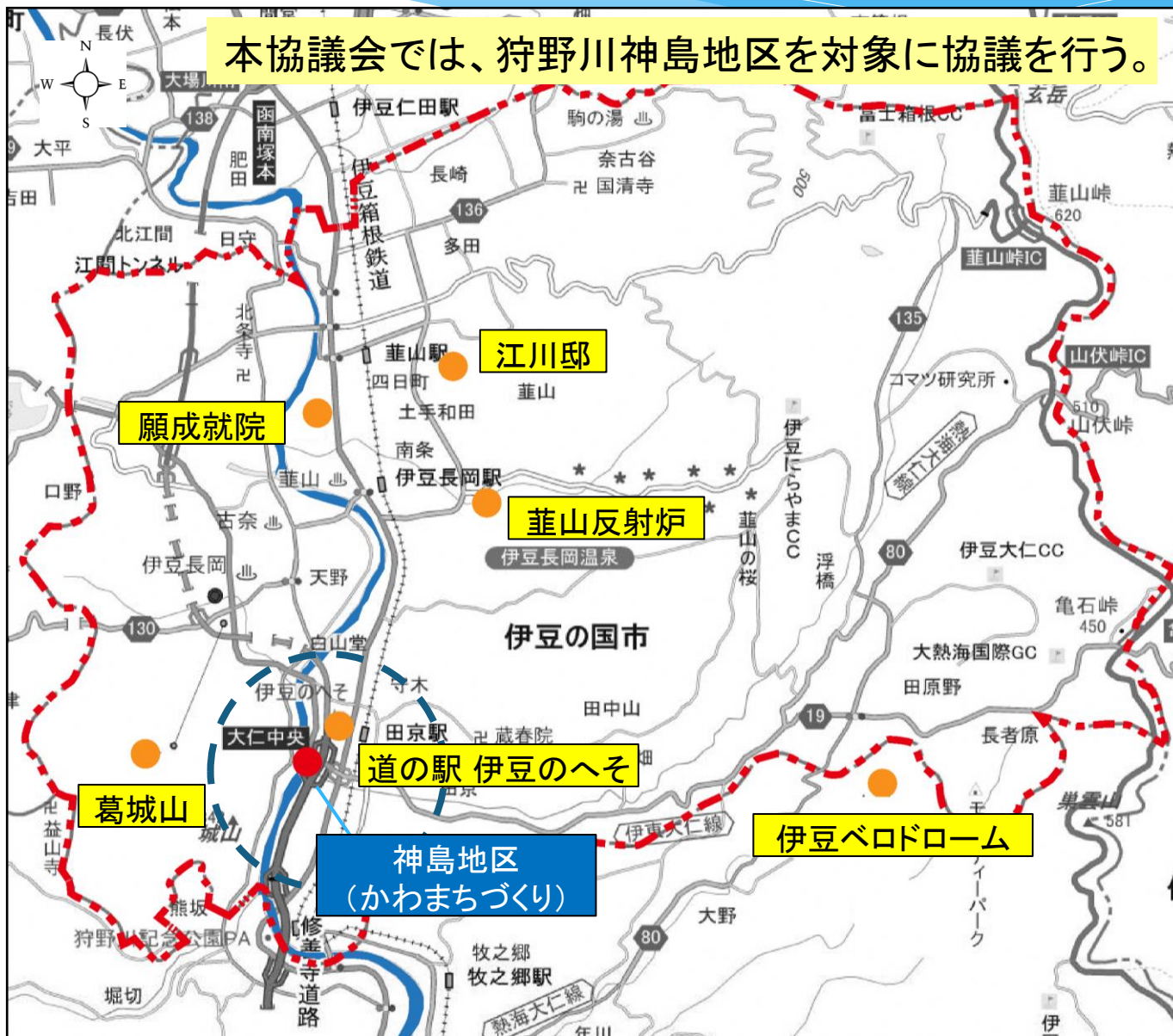


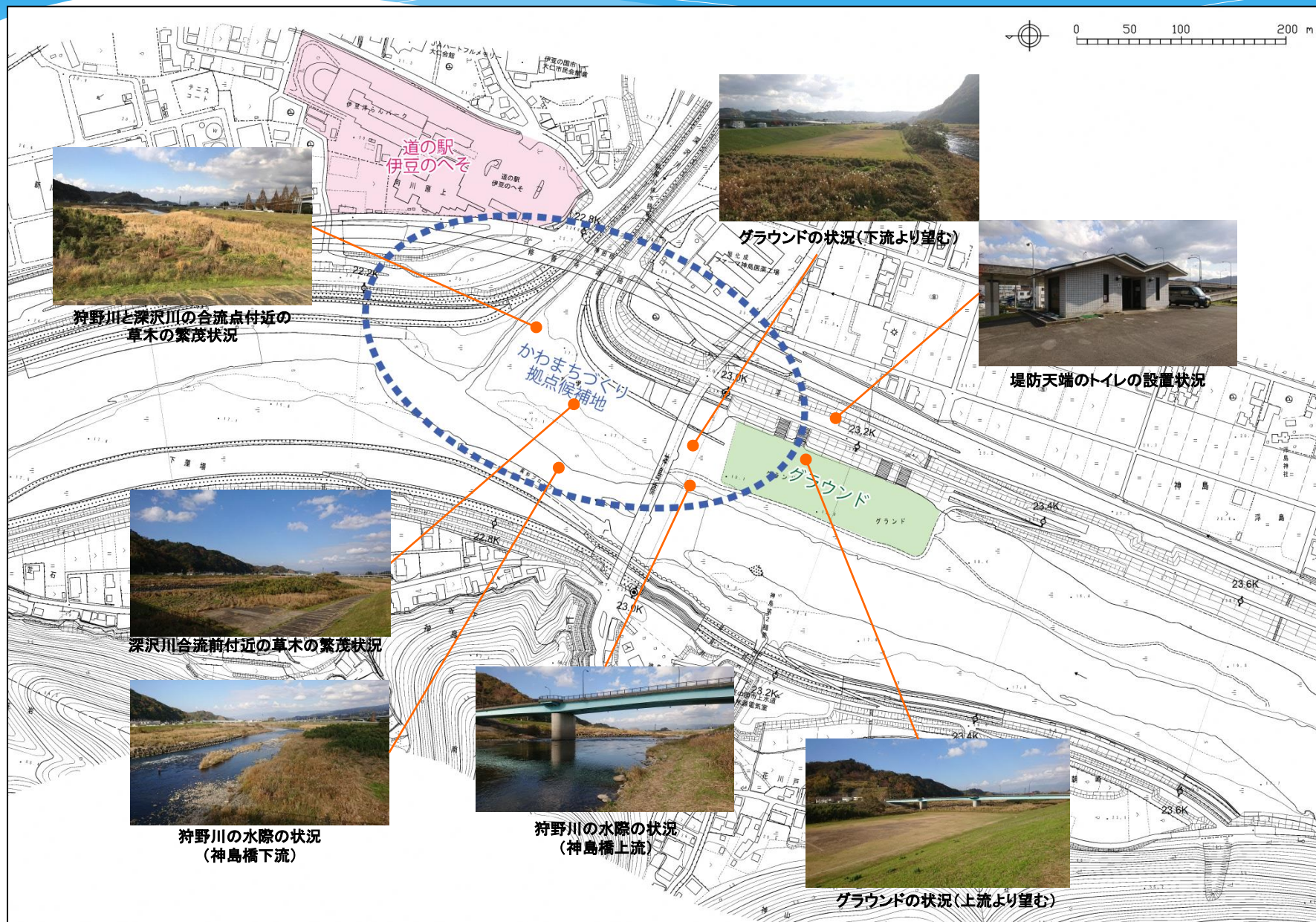
伊豆の国市かわまちづくりについて



伊豆の国市かわまちづくり協議会で議論する対象地区



伊豆の国市かわまちづくり協議会で議論する対象地区



伊豆の国市の現状

■伊豆の国市の概要

◇伊豆の国市は、伊豆半島の北部、田方平野のほぼ中央に位置している。平野部は南北に狩野川が流れ、豊かな田園地帯が広がっている。

また、狩野川に沿うように国道136号、伊豆箱根鉄道が走り、周辺に市街地を形成している。

・人口:約4.8万人（H27国勢調査） ・面積:94.62km²

◇東京からは100km圏内にあり、東海道新幹線、東名高速道路を利用して2時間弱の所要時間であり、首都圏とのアクセスもよく、沼津市や三島市の静岡県東部中心地に近く、交通利便性に恵まれている。

出典:第2次伊豆の国市総合計画(伊豆の国市)



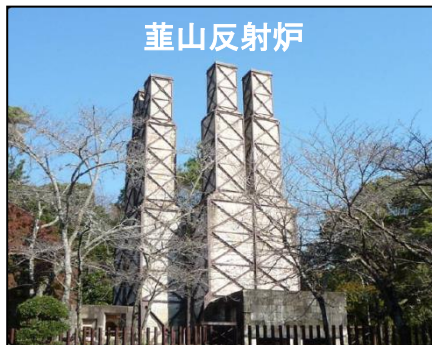
■まちの基盤

◇重要な観光資源であり、温泉が豊富にある。（伊豆三古湯の一つで、1300年の歴史を持つ「古奈温泉」、明治時代に開湯された「長岡温泉」のほか、韮山温泉、大仁温泉など）

◇過去の時代の面影を残す旧石器時代から江戸時代までの数多くの遺跡や史跡、文化財が点在している。（幕末の製砲工場の韮山反射炉「世界文化遺産」）



城山



韮山反射炉



江川邸

写真の出典:伊豆の国市都市計画マスタープラン(平成23年3月、伊豆の国市)

伊豆の国市のまちづくり計画①

■伊豆の国市 緑の基本計画(H29.8)

◇基本理念

「暮らしを彩り、みどりあふれた おもてなし～伊豆の国、水と緑と歴史の京（みやこ）～」

◇緑のまちづくりの方針

市内どこでも公園・緑地が身近にある環境を享受できるまちづくりを進める。

◇狩野川周辺の整備・活用について

■狩野川ツーリズムによる狩野川全体の利活用

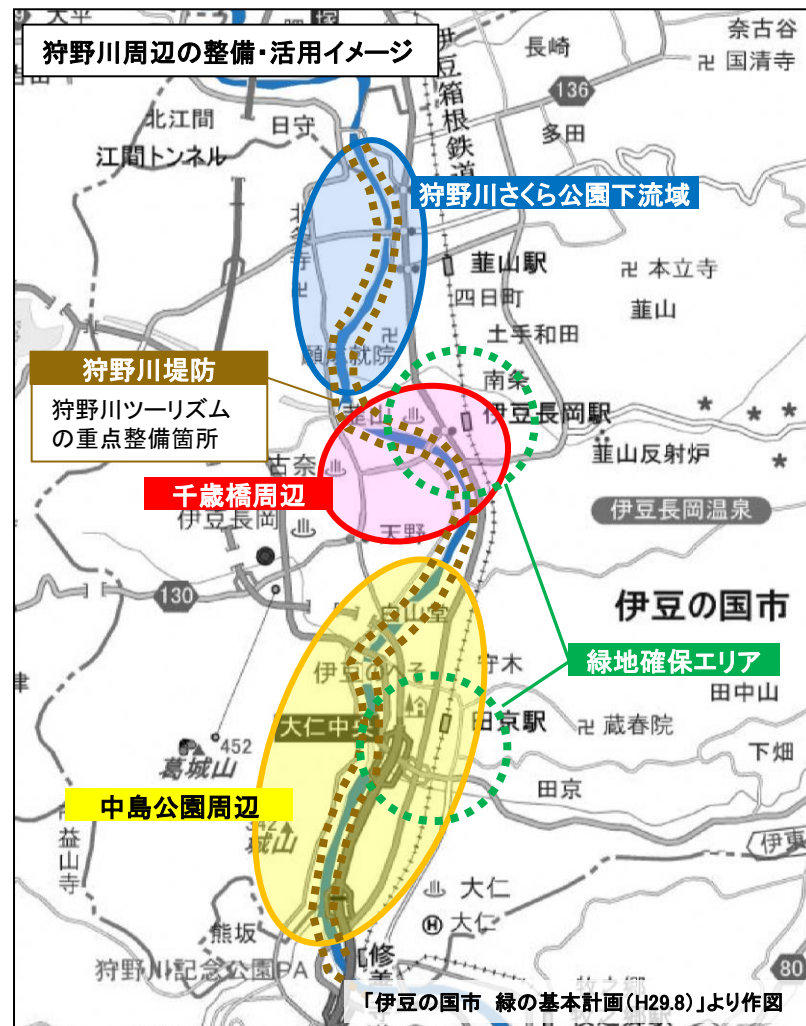
- ・サイクリングやカヌー等のスポーツと連携することで、狩野川全体の利用を促進

■ゾーンごとの狩野川の利活用の促進

- ・まちと繋がり観光交流を強化する「千歳橋周辺」
- ・狩野川コリドーや河川敷グラウンドを活かしスポーツ振興を図る「中島公園周辺」
- ・公園での憩いや水辺のスポーツを楽しむ「狩野川さくら公園下流」

■緑の将来像

市の「緑の将来像」として、伊豆長岡駅周辺、田京駅周辺を今後、市都市公園条例の目指す都市公園面積確保目標に向けて、緑地整備を検討する緑地確保エリアに位置付け（※狩野川河川敷等が活用可能）



伊豆の国市のまちづくり計画②

■伊豆の国市歴史的風致維持向上計画(H30.3)

◇維持及び向上すべき歴史的風致

「伊豆の国市歴史的風致維持向上計画」では、維持及び向上すべき歴史的風致として6つの歴史的風致を位置付け、狩野川は「狩野川をめぐる祭りと信仰にみる歴史的風致」に位置付けられている。



かわかんじょう(神島地区)



狩野川台風殉難者慰霊碑
(南條地区)

出典:伊豆の国市歴史的風致維持
向上計画(伊豆の国市)



伊豆の国市のまちづくりの課題

■まちづくりの課題

- ◇憩いの場となる緑地・公園等の適切な整備・維持・管理が必要。
- ◇豊かな自然環境・自然景観の有効活用を検討し、より快適な生活環境や観光交流の資源としてまちづくりに生かすことが必要。
- ◇歴史・文化資源を保全しつつ、新たな観光交流や地域の連帯感の醸成など、友好的な活用方法を検討することが必要。
- ◇市民やボランティア団体などと行政の協働によるまちづくりを進める体制作りが必要。

■まちづくりに係る「かわ」の課題

- ◇狩野川は、観光・ツーリズムやスポーツ・イベントの場、憩いの場として期待されており、その有効活用が必要である。
- ◇狩野川は「アユ友釣り」の発端であったなど、賑わいのある川であったが、近年は、地域の子どもたちの川ばなれが著しい。
- ◇狩野川流域では、下流域（沼津市上土地区）・中流域（函南町塚本地区）において、水辺の賑わいを生む取組が進められているが、上流域においても魅力ある水辺の整備を行い、上・中・下流全体で賑わいを生み、かつ各地特色ある水辺づくりを図っていく必要がある。

狩野川神島地区周辺の現状

■ 地域の祭り・イベント

- ・ 狩野川神島地区では、水難者を慰霊する『かわかんじょう』が毎年8月に行われ、秋に行われているサイクルツアー『ライド&ライド狩野川』（旧狩野川100kmサイクリングをリニューアル）のスタート・ゴール地点にもなっている。

■ 地域の観光・利用資源

- ・ 「道の駅伊豆のへそ」（平成30年12月にリニューアル）等の集客施設が隣接しており、これらの施設と連携した賑わいづくりのポテンシャルを有している。
- ・ 神島地区には「神島グラウンド」が整備されており、少年サッカーなどのスポーツ利用が盛んである。
- ・ 長嶋茂雄読売巨人軍終身名誉監督が伊豆の国市（旧大仁町）を自主トレーニングの拠点としたことから、長嶋氏がトレーニングをしていた道などが「読売巨人軍長嶋茂雄ロード」と命名されており、河川堤防や神島橋はその「ランニングロード」に位置づけられている。

かわかんじょう



出典：伊豆の国市観光協会ポスター

ライド&ライド狩野川

狩野川流域のロコサイクリストをガイドにした伊豆半島独特の自然・風景・みち・資源を楽しむサイクリングツアー



出典：ライド&ライド狩野川実行委員会ホームページ

読売巨人軍長嶋茂雄ロード



出典：伊豆の国市ホームページ

狩野川神島地区周辺の現状

道の駅伊豆のへそ

「道の駅伊豆のへそ」は、平成30年11月にリニューアルし、特産品である「いちご」のスイーツ専門店、地元野菜や果物などの静岡・伊豆の特産物直売所、世界的自転車ブランドの展示・試乗施設などが集めた伊豆の観光・集客拠点になっている。



和洋スイーツいちごの専門店



地元野菜などの静岡・伊豆の特産物直売所



世界的自転車ブランドの展示・試乗施設



格安宿泊施設及び温泉施設

かわまちづくり勉強会であげられたアイディア

伊豆の国市では、狩野川神島地区における「かわまちづくり計画」の策定に向けて、地域住民・団体代表者の方々から水辺整備・活用のアイディア・意見をいただくため、これまで2回の勉強会及び意見交換を実施しています。

第1回勉強会の様子

年月日：平成30年10月23日（火）

場 所：伊豆の国市あやめ会館 2階会議室

参加者：団体代表者10名



支援制度等の説明や意見交換を実施

第2回勉強会の様子

年月日：平成30年12月26日（水）

場 所：伊豆長岡庁舎 3階第1会議室

参加者：団体代表者15名



第2回勉強会では、参加者が3つのグループに分かれて、神島地区で「やりたいこと」についてアイデアを出し合い、具体的な整備メニューなどをまとめた企画をグループごとに発表していただきました。

Aグループ



Bグループ



Cグループ



かわまちづくり勉強会であげられたアイデア

整備メニューに関する主なアイデア

整備メニュー	①	②A	②B	②C
子供の遊び場(芝生)	○	○	○	○
バーベキュー場・飲食スポット(売店等)	○	○	○	○
親子・子供の釣り場	○	○	○	○
舟橋(栈橋)・川床・ヤナ場	○	○	○	○
駐車場		○	○	○
道の駅とのアクセス道路改善		○	○	
ワンド	○		○	
サイクルスポット(サイクリング休憩拠点)			○	○
写真撮影スポット			○	○
どんど焼き会場	○			○

※①: 第1回勉強会 ②: 第2回勉強会 A:Aグループ B:Bグループ C:Cグループ

かわまちづくり勉強会であげられたアイデア

利活用(イベント等)に関する主なアイデア

利活用内容	①	②A	②B	②C
出店(でみせ)・その他販売系収益事業	○	○	○	○
キャンプ・バーベキュー利用	○	○	○	○
サイクリング利用・サイクルイベント(競技・ツアー等)		○		○
魚とり体験・釣り大会・観光ヤナ	○	○		○
アウトドアイベント		○		○
お祭り(夏祭り・花火大会・どんど焼き大会等)	○			○

※①: 第1回勉強会 ②: 第2回勉強会 A: Aグループ B: Bグループ C: Cグループ

かわまちづくり勉強会であげられたアイデア

維持管理における関係者との連携等に関する主なアイデア

利活用内容	①	②A	②B	②C
道の駅との連携(飲食物提供・出店等)	○	○	○	○
サイクル・アウトドア・水上スポーツ団体との連携		○	○	○
葛城山・城山等周辺観光拠点との連携	○	○		○
釣り・カヌーとの棲み分けルールづくり	○		○	

※①: 第1回勉強会 ②: 第2回勉強会 A: Aグループ B: Bグループ C: Cグループ

○かわまちづくりの維持管理において考慮すべき事項

・維持管理の実施は地域住民や活動団体等をはじめ関係機関の参画による継続的な協力体制を構築

【維持管理の役割分担】

- ◆国土交通省: 治水上必要な堤防の除草, 水際の護岸部の維持管理・補修など
- ◆伊豆の国市: 広場、散策路、ベンチなど等の維持管理・補修など
- ◆地域住民や団体等: 草刈りやゴミ拾いなど日常的な利用のなかで可能な維持管理

伊豆の国市 神島地区かわまちづくり計画イメージ(素案)

【現状の課題】 (仮)

- 伊豆の国市内や神島地区周辺には有数の観光資源や歴史・文化があるが、川に親しめる場所や機会が失われつつある。
- サイクルツーリズムの結節点であるが、自転車利用者がとどまる場・休憩できる場などの拠点にはなっていない。
- かわまちづくりが観光振興・地域振興に持続的に資するためには、隣接する「道の駅」と連携し、相乗効果が得られるような施設整備や利活用を図っていく必要がある。

【かわまちづくりの方向性(基本方針)】 (仮)

- アユ友釣りの発端であり、かつては舟橋(栈橋)が多数架る賑わいを見せていた狩野川(神島地区)の原風景を保全・再生する水辺構造の整備を行う。
⇒ **狩野川原体験ゾーン**
- 狩野川の原風景、及び葛城山・城山・富士山を望む素晴らしい景観のなかで、人々が集まり、憩い、食を楽しめる施設整備を行う。
⇒ **BBQ・出店ゾーン** (堤内地)
⇒ **サイクルスポットゾーン** (堤防天端)
- 狩野川の原風景に接し、サイクルツーリズム、地域イベント、遊び体験ができる施設整備を行うことで、健康増進、地域振興、子どもたちの豊かな成長に貢献する。
⇒ **遊び・イベントゾーン**
- 狩野川や道の駅へ来訪する車利用者の駐車スペースや案内看板の整備を行い、来訪者の利便性向上やアクセス性向上を図る。
⇒ **周辺整備ゾーン**

伊豆の国市 神島地区かわまちづくり計画イメージ(素案)

狩野川の自然と歴史景観に「触れ・遊び・学ぶ」拠点空間づくり(仮)

かわまちづくり支援制度を活用し、美しい葛城山や城山に囲まれ富士山を望む「狩野川の原風景」を保全・再生し、これらに「触れ・遊び・学ぶ」ができる空間形成を図り、観光振興や地域活性化、健康増進に貢献する。(仮)

